

# 地理歴史 (地理総合)

発 行 者			教 科 書 の 記 号	判 型	総ページ数	検 定 済 年
番 号	名 称	略 称	番 号			
2	東京書籍	東書	地総 701	A B	238	令和3年
7	実教出版	実教	地総 702 ◆	A B	244	
46	帝国書院	帝国	地総 703 ◆	A B	238	
130	二宮書店	二宮	地総 704 ◆	B 5	246	
130	二宮書店	二宮	地総 705 ◆	A B	214	
183	第一学習社	第一	地総 706 ◆	A B	230	

※ 「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

## 1 調査の対象となる教科書の冊数と発行者及び教科書の番号

地理総合		冊数	6冊
発行者の略称・教科書の番号	東書701	実教702	帝国703 二宮704 二宮705 第一706

## 2 学習指導要領における教科・科目の目標等

### 【地理歴史の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

### 【地理総合の目標】

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

### 【地理総合の内容及び内容の取扱い】

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 (1) 地図や地理情報システムと現代世界	(1) 内容の全体にわたって、次の事項に配慮するものとする。 ア 中学校社会科との関連を図るとともに、1の目標に即して基本的な事柄を基に指導内容を構成すること。 (略) ウ 地図の読図や作図などを主とした作業的で具体的な体験を伴う学習を取り入れるとともに、各項目を関連付けて地理的技能が身に付くよう工夫すること。(後略)
B 国際理解と国際協力 (1) 生活文化の多様性と国際理解 (2) 地球的課題と国際協力	(略)
C 持続可能な地域づくりと私たち (1) 自然環境と防災 (2) 生活圏の調査と地域の展望	(略) カ 各項目の内容に応じて日本を含めて扱うとともに、日本と比較し関連付けて考察するようにすること。

「内容」の概要	「内容の取扱い」抜粋
	<p>(2) 内容の取扱いに当たっては、次の事項に配慮するものとする。</p> <p>ア 内容のAについては、次のとおり取り扱うものとする。</p> <p>(ア) (1)については、次のとおり取り扱うこと。</p> <p>「現代世界の地域構成を示した様々な地図の読図」については、様々な地図の読図によって現代世界を地理的な視点から概観するとともに、球面上の世界の捉え方にも習熟するよう工夫すること。「日本の位置と領域」については、世界的視野から日本の位置を捉えるとともに、日本の領域をめぐる問題にも触れること。</p> <p>(略)</p> <p>また、今後の学習全体を通じて地理的技能を活用する端緒となるよう、地図や地理情報システムに関する基礎的・基本的な知識や技能を習得するとともに、地図や地理情報システムが日常生活の様々な場面で持続可能な社会づくりのために果たしている役割やその有用性に気付くことができるよう工夫すること。</p> <p>(略)</p>

### 3 教科書の調査研究

#### (1) 内容

##### ア 調査研究の総括表（調査結果は「別紙1」）

調査項目	対象の根拠（目標等との関連）	数値データの単位
a 大項目（「A 地図や地理情報システムで捉える現代世界」、「B 国際理解と国際協力」、「C 持続可能な地域づくりと私たち」）ごとのページ数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い《(1)ア指導内容の構成》	ページ、%
b 地図の読図や作図などを主とした作業的、体験的な学習を取り入れるなど地理的技能が身に付くように工夫している箇所数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い《(1)ウ地理的技能の育成》	個
c 各項目における日本について取り扱っているページ数	第2章第2節 第2款 目標及び内容の取扱い《(1)カ日本と関連付けた取扱い》	ページ、%
d 発展的な内容を取り上げている箇所数	第1章総則 第2款 3(5)	個

##### イ 調査項目の具体的な内容（調査結果は「別紙2」）

###### ① 教科書の特徴をより明確にするため、具体的に調査研究する事項

<上記調査項目関連>

d 発展的な内容の概要

<その他>

- \* 我が国の領域をめぐる問題の扱い
- \* 国旗・国歌の扱い
- \* 北朝鮮による拉致問題の扱い
- \* 防災や自然災害の扱い
- \* 一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い
- \* 持続可能な社会づくりの扱い
- \* オリンピック、パラリンピックの扱い

② 具体的に調査研究する事項を設定した理由等

- ・ 学習指導要領に、内容の範囲や程度等を示す事項は、当該科目を履修する全ての生徒に対して指導するものとする内容の範囲を示したものであり、学校において必要がある場合には、この事項にかかわらず指導することができるため、発展的な内容を取り上げている箇所について調査する。
- \* 我が国の領域をめぐる問題及び国旗・国歌の取扱いについては、学習指導要領総則に基づき、これらの問題を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- \* 北朝鮮による拉致問題については、東京都教育委員会教育目標の基本方針1に基づき、人権尊重の理念を正しく理解できるようにするため、その扱いについて調査する。
- \* 東京都では、自然災害時における被害を最小化し、首都東京の都市機能の迅速な復旧を図る総合的なリスクマネジメント方策の確立が喫緊の課題であり、防災教育の普及等により地域の防災力の防災力の向上が重要なことであるから、防災や自然災害時における関係機関の役割等について考察させることを通して、これらの問題を正しく理解できるようにする。
- \* 学習指導要領に基づき、環境にかかる諸問題を考察させることを通して、これらの問題を正しく理解できるようにするため、一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱いについて調査する。
- \* 生徒には、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される。学習指導要領に基づき、正しい理解ができるように、持続可能な社会づくりの扱いについて、調査する。
- \* 東京都教育委員会教育目標の基本方針2・3に基づき、文化・スポーツに親しみ、国際社会に貢献できる日本人を育成するという観点から、オリンピック・パラリンピックの扱いについて調査する。

(2) 構成上の工夫（調査結果は「別紙3」）

- ① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫
- ② コラム・資料・トピックスの扱い方
- ③ 視覚的資料(写真、図・イラスト、グラフ、表など)
- ④ 編集上の工夫・その他
- ⑤ ユニバーサルデザインの視点
- ⑥ デジタルコンテンツの扱い

「別紙1」【(1)内容 ア 調査研究の総括表】(地理総合)

調査項目			a						b		c						d
			大項目(「A 地図や地理情報システムで捉える現代世界」、「B 国際理解と国際協力」、「C 持続可能な地域づくりと私たち」)ごとのページ数						地図の読図や作図などを主とした作業的、体験的な学習を取り入れるなど地理的スキルが身に付くように工夫されている箇所数		各項目における日本について取り扱っているページ数						発展的な内容を取り上げている箇所数
発行者	教科書番号	教科書名	ページ	%	ページ	%	ページ	%	箇所数	ページ	%	ページ	%	ページ	%	箇所数	(全体のページ数)
東書	701	地理総合	50	21.0	118	49.6	39	16.4	58	49	98.0	87	73.7	39	100.0	0	238
実教	702	地理総合	20	8.2	148	60.7	32	13.1	73	17	85.0	84	56.8	32	100.0	0	244
帝国	703	高等学校 新地理総合	38	16.0	146	61.3	39	16.4	293	37	97.4	98	67.1	38	97.4	0	238
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	36	14.6	150	61.0	36	14.6	105	32	88.9	94	62.7	36	100.0	0	246
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	32	15.0	128	59.8	38	17.8	100	29	90.6	98	76.6	38	100.0	0	214
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	36	15.7	140	60.9	40	17.4	120	33	91.7	108	77.1	38	95.0	0	230
平均値			35.3	15.0	138.3	58.9	37.3	15.9	124.8	32.8	92.9	94.8	68.5	36.8	98.7	0	235

・aの割合については、全体のページ数に対する該当のページ数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

・cの割合については、各項目のページ数に対する該当のページ数の割合を、小数第2位を四捨五入した値である。

「別紙2-1」【(1)内容 イ 調査項目の具体的な内容 d 発展的な内容の概要】(地理総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの有無	取り上げられている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	無		
実教	702	地理総合	無		
帝国	703	高等学校 新地理総合	無		
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	無		
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	無		
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	無		

「別紙2-2」【我が国の領域をめぐる問題の扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
東書	701	地理総合	<p>P12 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本も北方領土と竹島に関して領土問題を抱えている。択捉島・国後島・色丹島・歯舞群島からなる北方領土は北海道に属する日本固有の領土だが、ロシアが不法に占拠しており、日本はロシアにその返還を求めている。</li> </ul> <p>P17 章末確認テストの選択肢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本は、択捉島などからなる北方領土の返還をロシアに求めている。</li> </ul>	<p>P13 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海にある竹島も島根県に属する日本固有の領土だが、韓国が不法に占拠しており、日本は韓国に対して抗議を続けている。</li> </ul>	<p>P13 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国が領有権を主張している尖閣諸島は、日本が固有の領土として有効に支配を続けており、領土問題は存在しない。</li> </ul>
実教	702	地理総合	<p>P17 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島の四島からなる北方領土は日本固有の領土だが、第二次世界大戦後、ロシアによる不法占拠が続いている。</li> </ul> <p>P17 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種条約に基づく北方領土の変遷</li> <li>・日本は、ポーツマス条約(日露戦争の講和条約)で獲得した南樺太と千島列島をサンフランシスコ平和条約において放棄した。北方四島は同条約において日本が放棄した千島列島に含まれないとするのが日本政府の立場である。ソ連はかつて日ソ共同宣言(1956年)において、日ソ(当時)間の平和条約締結後に歯舞、色丹を返還するとした。</li> </ul> <p>P17 コラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1956年の日ソ共同宣言では、両国間で平和条約が締結された後には、歯舞群島と色丹島を日本に引き渡すことが合意された。日本政府の立場は、四島すべての返還を前提として平和条約を締結することである。一方、ロシア(ソ連)側は「領土問題は解決済み」という態度であったが、1991年に両国間で領土問題があることを認め、ソ連崩壊後の1993年には、日ソ間で北方四島の帰属問題を解決したうえで平和条約を締結すべきであるとの東京宣言が合意された。2013年の日ソ共同声明でも、早期解決に向けて努力することが合意されている。</li> </ul>	<p>P17 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本海にある竹島(島根県)は1905年に国際法に従って島根県に編入した日本固有の領土だが、1952年から韓国が一方的に竹島を自国領土と主張し、不法に占拠している。日本は国際司法裁判所に付託するように提案するなど、この問題の平和的な解決を求めている。</li> </ul>	<p>P17 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東シナ海にある尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された日本固有の領土である。周辺水域に埋蔵資源が確認されるようになった1970年代以降、中国が一方的に領有権を主張しているが、日本が有効に支配しており、尖閣諸島の領有権をめぐる問題は存在しない。</li> </ul>
帝国	703	高等学校 新地理総合	<p>P31 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道の北東部にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は、北方領土とよばれ、北海道に属する日本固有の領土である。1945年に、日本との条約を無視して一方的に侵攻してきたソ連が不法に占拠したことで問題が生じた。北方領土は、現在までロシアが不法に占拠した状態になっており、日本はロシアに対して北方領土の返還を求めて交渉を続けている。</li> </ul>	<p>P31 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島は島根県に属する日本固有の領土である。17世紀ごろから米子や隠岐の漁民が漁に出かけ、魚介類やアシカなどを捕獲して生計を立てていた。こうした実態に基づいて、日本は1905年に竹島の帰属を内外に宣言し、国際法にのっとり島根県に編入した。しかし1952年以降、韓国が竹島を不法に占拠している。日本は国際司法裁判所での話し合いを求めているが、韓国が応じない状況が続いている。</li> </ul>	<p>P31 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>尖閣諸島は、1895年に沖縄県に編入された日本固有の領土であり、ほかの国との間に解決すべき領有権問題は存在しない。編入後にはかつおぶし製造や羽毛の採集などが行われ、200人以上が居住していた。しかし、1960年代に周辺海域で石油資源の存在が確認されると、1970年代に中国などが領有権を主張するようになった。日本は2012年に尖閣諸島を国有地化して監視を強めている。</li> </ul>

「別紙2-2」【我が国の領域をめぐる問題の扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	<p>P24 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土とは、北海道の北東部にある択捉島、国後島、歯舞群島、色丹島のことで、日本固有の領土である。1855年の日露和親条約で日本領であることが確定したが、1945年8月以降、ソ連による占拠が続いた。1951年のサンフランシスコ平和条約で、日本は南樺太や千島列島の領有権を放棄したが、ソ連はこの条約の締結国ではなく、北方領土は放棄した千島列島に含まれない。日本とソ連は1956年の日ソ共同宣言で国交を回復した。この宣言では、両国は引き続き平和条約の締結交渉を行い、条約締結後にソ連は日本へ歯舞群島と色丹島を引き渡すと記されているが、択捉島、国後島については明記されていない。現在は、北方領土の返還交渉が、ソ連の権利・義務を継承したロシアとの間で続いている。2017年には、日本とロシア双方の立場を書さない形で、北方領土での共同経済活動を進めることが合意された。北方領土の周辺海域は豊富な水産資源に恵まれた漁場である。そのため、海産物の養殖や観光などの分野での具体化に向けた協議が行われている。</li> </ul> <p>P38 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北方領土はロシアに支配されていて測量ができないため、戦前のものに衛星画像の解析を加えて、2万5千分1地形図は2014年に整備が完了した。</li> </ul>	<p>P.25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹島は、島根県の隠岐諸島沖にある日本固有の領土である。1952年1月、大韓民国の李承晩大統領が「海洋主権宣言」を発表して李承晩ラインを一方的に設定し、広大な水域の漁業管轄権を主張するとともに、竹島を不法に占拠した。1965年には日韓基本条約とともに日韓漁業協定が締結され、李承晩ラインは廃止されたが、竹島問題は棚上げされ、韓国は竹島に宿舎や監視所、灯台、接岸施設などを構築するとともに、海洋警察を常駐させ、不法占拠を続けている。</li> <li>・竹島の写真・地図あり</li> <li>・竹島に関する年表あり</li> </ul>	<p>P.25</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・尖閣諸島は、沖縄県の石垣島北西にある日本固有の領土である。1970年代以降、中華人民共和国が領有を主張しているが、現に日本が有効に支配しており、領有権問題は存在しない。</li> <li>・尖閣諸島・魚釣島の写真、尖閣諸島の地図あり</li> </ul>
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	<p>P19 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島の北方領土には、第二次世界大戦直前まで約1万7000人の日本人が暮らしていた。しかし、1945年にソ連に占領され、約半数の日本人が島を離れ、残った人々も1947年から48年にかけて強制的に退去させられた。以来、ロシア(当時のソ連)による占拠が続いて領土問題が生まれている。北方領土は日本固有の領土であり、1855年の日露和親条約で国境が定められている。また、1956年の日ソ共同宣言で日本とソ連が国交を回復したが、宣言のなかで両国間による平和条約締結後、色丹島と歯舞群島を日本に引き渡すことが明記されている。</li> </ul>	<p>P19 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県の隠岐諸島沖の日本海に浮かぶ竹島は日本固有の領土である。1951年のサンフランシスコ平和条約でも、日本の領土であることが確認されている。しかし、1953年に韓国の沿岸警備隊が占拠し、今日にいたっている。それに対し、日本政府は韓国政府に強く抗議している。</li> </ul> <p>P19 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・韓国・北朝鮮は独島と称し、自国の領土と主張している。第三国では中立的立場から「リアンクール岩礁」との表記が多い。</li> </ul>	<p>P19 本文</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県石垣市に属する尖閣諸島は日本固有の領土で、1895年には、清国の支配がおよんでいないことを確認して、明治政府が領土に編入した。サンフランシスコ平和条約によってアメリカの施政下におかれたが、1972年に日本に返還された。近年、中国が領有権を主張しているが、日本が有効に支配しており、領土問題は存在しない。</li> </ul> <p>p19 注釈</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚釣島、北小島、南小島などから構成される。1940年以前は日本人居住者がいたが、現在は無人島になっている。</li> </ul>

「別紙2-2」【我が国の領域をめぐる問題の扱い】(地理総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	北方領土に関する記述の概要	竹島に関する記述の概要	その他
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	<p>P29 本文</p> <p>・日本は現在、ロシアとの間に北方領土問題を抱えている。北方領土とは、国後島・択捉島・色丹島・歯舞群島の四島を指す。ポツダム宣言受諾後にソ連に占領され、そこに暮らしていた日本人は1949年までに本土へ引き揚げさせられた。北方領土は現在もロシアによる不法占拠が続いているが、北方領土は日本固有の領土であり、日本はロシアに対して返還を求め続けている。</p> <p>P29 注釈</p> <p>・日露和親条約では、両国民が混住していた樺太には国境線を設けず、択捉島とウルップ島の上に国境を定め、以後北方四島は常に日本の領土であった。日本は、サンフランシスコ平和条約で放棄した南樺太と千島列島はどこにも帰属していないとの立場を取っている。</p>	<p>P29 本文</p> <p>・韓国との間には竹島(島根県)の領有権問題を抱えている。日本固有の領土である竹島は韓国に不法に占拠されており、日本は国際法に則った平和的解決を求め続けている。</p>	<p>P29 本文</p> <p>・尖閣諸島(沖縄県)は、1968年に石油埋蔵の可能性が明らかとなり、1970年代に入り中国や台湾当局が領有権を主張しはじめたが、日本が有効に支配し続けている固有の領土であり、領土問題は存在していない。</p>

※ 我が国の領域をめぐる問題として、ここでは「北方領土」及び「竹島」に関わる記述の概要について調査した。

「その他」については、「北方領土」及び「竹島」以外で、我が国の領域をめぐる問題の扱いについて、特記すべき事項があれば記載している。

「別紙2-3」【国旗・国歌の扱い】(地理総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	無			
実教	702	地理総合	無			
帝国	703	高等学校 新地理総合	無			
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	無			
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	無			
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	無			

「別紙2-4」【北朝鮮による拉致問題の扱いについて】(地理総合)

発行者	教科書 番号	教科書名	扱いの 有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	無			
実教	702	地理総合	有	P54 コラム	北朝鮮の動向	・冷戦終結後、国際的に孤立したなかで、自力での経済発展をめざしたが生産が伸びず、韓国との経済的格差はさらに広がった。このような状況の打開をめざして、経済改革とともに対外関係の再構築に取り組んでいるが、核兵器開発や日本人の拉致問題などがその進展を難しくしている。
帝国	703	高等学校 新地理総合	無			
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	無			
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	無			
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	無			

「別紙2-5」【防災や自然災害の扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	有	巻頭言 P28 本文、写真 P73 本文、写真 P75 本文、写真 P173 本文、写真 P174 本文 P180、181 本文、写真 P182、183 本文、写真 P184、185 本文、写真 P186、187 本文、写真 P188、189 本文、写真 P190、191 本文、写真 P192、193 本文、写真 P194～197 本文 P198 本文、写真 P200～202 本文 P205～211 本文 P212～217 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・地理情報システムと地図</li> <li>・海岸の暮らし</li> <li>・世界の大地形</li> <li>・自然環境と防災</li> <li>・災害想像力ゲーム(DIG)</li> <li>・地震災害・津波災害</li> <li>・地震災害・津波災害</li> <li>・火山の災害とめぐみ</li> <li>・気象災害</li> <li>・気象災害</li> <li>・都市と自然災害</li> <li>・防災・減災と復旧・復興</li> <li>・防災アクション</li> <li>・演習</li> <li>・章のまとめ</li> <li>・地域調査</li> <li>・総合問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ここ数年、頻発に発生する自然災害について掲載</li> <li>・「重ねるハザードマップ」の紹介</li> <li>・東日本大震災からの復旧についての写真掲載</li> <li>・火山の激しい爆発などによってつくられるカルデラの紹介</li> <li>・世界でみられるさまざまな自然災害の紹介</li> <li>・地図アプリを駆使して津波の到達から避難する演習</li> <li>・日本におけるこれまでの地震の種類と津波についての紹介</li> <li>・過去の災害史についての紹介</li> <li>・火山災害と火山のめぐみの紹介</li> <li>・日本における季節に応じた気象災害についての紹介</li> <li>・大雨により発生する災害についての紹介</li> <li>・都市を襲う災害についての紹介</li> <li>・防災・減災のためにできることの紹介</li> <li>・日ごろからの備えについての紹介</li> <li>・災害に強い都市計画の作成</li> <li>・章全体を通した災害や防災についてのまとめ</li> <li>・松戸市の市街地の洪水対策の事例紹介</li> <li>・全章を通した災害や防災についての問題演習</li> </ul>
実教	702	地理総合	有	P73 写真 P115 本文 P166 本文 P174、175 本文、写真 P176、177 本文 P178、179 本文、写真 P180、181 本文、写真 P182、183 本文、写真 P184、185 本文、写真 P186、187 本文、写真 P188、189 本文 P190、191 本文、写真 P192、193 本文、写真 P194、195 本文、写真 P224、225 本文、写真 P226、227 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宗教と結び付いた社会の成立過程</li> <li>・多民族社会の暮らしと生活文化</li> <li>・地球環境問題</li> <li>・自然災害と防災</li> <li>・日本の自然環境</li> <li>・地震と津波</li> <li>・地震・津波への対策</li> <li>・火山災害と対策</li> <li>・風水害</li> <li>・風水害への対策</li> <li>・雪害・高温と対策</li> <li>・防災・減災への取り組み</li> <li>・演習問題</li> <li>・演習問題</li> <li>・演習問題</li> <li>・演習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水被害を受ける都市の紹介</li> <li>・サヘル地域における干ばつや洪水などの気象災害についての紹介</li> <li>・台風やハリケーンの強大化、洪水の危険性の紹介</li> <li>・世界と日本の自然災害の紹介</li> <li>・地震、台風、洪水の発生についての紹介</li> <li>・地震の種類と直接的な被害などについての紹介</li> <li>・地震や津波の対策の紹介</li> <li>・火山の地熱を利用した発電、八丁原地熱発電所</li> <li>・日本における風水害の発生についての紹介</li> <li>・風水害を軽減するための対策の紹介</li> <li>・大雪や高温の対策と課題についての紹介</li> <li>・災害に備えて防災・減災への取り組み</li> <li>・洪水と地形の関係の読み取り</li> <li>・避難経路についての考察</li> <li>・地形と侵水域の関係</li> <li>・避難ルートの検討</li> </ul>
帝国	703	高等学校 新地理総合	有	巻頭言 P26 本文、写真、写真 P48、49 本文 P175 本文 P177 写真 P189 本文 P190、191 本文 P192、193 本文 P194、195 本文、写真 P196、197 本文、写真 P198 本文、写真 P199 本文、写真 P200、201 本文、写真 P202、203 本文、写真 P205 本文、写真 P206、207 本文、写真 P208、209 本文、写真 P210 本文、写真 P211 本文、写真 P212、213 本文、写真 P214 本文、写真 P215 本文、写真 P216、217 本文、写真 P218 本文 P220、221 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが地理を学ぶ意義</li> <li>・WebGISの活用</li> <li>・変動帯と人々の生活</li> <li>・飢餓と飢食</li> <li>・地域で異なる食料問題への取り組み</li> <li>・自然環境と防災</li> <li>・日本の地形</li> <li>・日本の気候</li> <li>・地震・津波による災害</li> <li>・地震・津波の被災地の取り組み</li> <li>・地震や津波が発生するしくみ</li> <li>・ハザードマップの見方</li> <li>・火山の恵みと災害</li> <li>・火山と共生する地域の取り組み</li> <li>・火山地形の読み取り方</li> <li>・さまざまな気象災害</li> <li>・気象災害への取り組み</li> <li>・台風や大雨が発生するしくみ</li> <li>・水害の危険がある地域の読み取り方</li> <li>・減災の取り組み</li> <li>・被災地への支援</li> <li>・防災ゲーム「クロスロード」の活用</li> <li>・世界各国で増加する自然災害</li> <li>・災害発生時の行動計画の立て方</li> <li>・地理的な課題と地域調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然災害は日々の恵みの裏返しということを紹介</li> <li>・浜松市防災マップを紹介</li> <li>・地震・火山に対応した生活を紹介</li> <li>・自然災害などが安定的な食糧生産を困難にしている事例を紹介</li> <li>・竜巻の被災者に届けられた水や食料の写真を紹介</li> <li>・1999年以降に発生した主な自然災害を紹介</li> <li>・プレートが重なり合う日本、地震の発生を紹介</li> <li>・降水量の季節変化、初秋の台風が暴風雨をもたらすことを紹介</li> <li>・地震の種類、特徴、津波の発生を紹介</li> <li>・東日本大震災、阪神・淡路大震災と防災の取り組みを紹介</li> <li>・地震や津波の発生するしくみを紹介</li> <li>・ハザードマップを紹介</li> <li>・火山の恵みとしての地熱発電を紹介</li> <li>・火山の恵み・災害と共生する島原市を紹介</li> <li>・霧島山を事例にした火山地形の読み取り方を紹介</li> <li>・大雨、強風、大雪などの気象災害の事例を紹介</li> <li>・気象災害への取り組みと課題を紹介</li> <li>・台風のしくみや線状降水帯のしくみを紹介</li> <li>・岡山県倉敷市真備地区周辺の事例を紹介</li> <li>・災害の被害を軽減するための事例を紹介</li> <li>・自助・共助・公助を紹介</li> <li>・「重ねるハザードマップ」でみた高知県黒潮町周辺の事例を紹介</li> <li>・自然災害による被害を減らすことの重要性を紹介</li> <li>・東京都江戸川区のタイムライン(防災行動計画の)の作成例を紹介</li> <li>・日本では自然災害への備えが重要な課題であることを紹介</li> </ul>

「別紙2-5」【防災や自然災害の扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	有	P50 本文、写真 P53 本文 P59 本文、写真 P198、199 本文、写真 P203 本文 P204、205 本文、写真 P206、207 本文、写真 P208、209 本文、写真 P210、211 本文、写真 P212、213 本文、写真 P214、215 本文、写真 P216、217 本文、写真 P218、219 本文、写真 P220、221 本文、写真 P223 写真 P225 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・変動帯とプレート</li> <li>・河川がつくる地形と生活</li> <li>・GISチャレンジ</li> <li>・日本の自然環境と防災</li> <li>・世界から見た日本の気候の特色</li> <li>・風水害と防災</li> <li>・GISチャレンジ</li> <li>・火山の噴火と防災</li> <li>・GISチャレンジ</li> <li>・地震・津波と防災</li> <li>・GISチャレンジ</li> <li>・都市型災害と防災</li> <li>・防災への心構え</li> <li>・地図を活用した演習</li> <li>・生活圏の諸課題と地域調査</li> <li>・GISチャレンジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震や火山の噴火を紹介</li> <li>・洪水時にあふれた砂や泥が堆積して氾濫原ができることを紹介</li> <li>・自然堤防の読図等を紹介</li> <li>・世界地図でとらえる自然災害のリスクを紹介</li> <li>・台風と秋の気候を紹介</li> <li>・日本における風水害への備えを紹介</li> <li>・新旧地形図の比較などの演習問題</li> <li>・火山災害への備え、火山の恩恵としての地熱発電を紹介</li> <li>・噴火ハザードマップの読み解き</li> <li>・地震の種類とメカニズム、津波の発生などを紹介</li> <li>・地震・津波ハザードマップの読み解き</li> <li>・都市型災害とその備えを紹介</li> <li>・災害時におけるタイムラインなどを紹介</li> <li>・地図を防災・行動計画に役立てる演習問題</li> <li>・液化化した道路を紹介</li> <li>・地域調査のテーマとして「自然災害と防災への対策」を紹介</li> </ul>
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	有	P69 年表 P156 本文 P168 写真 P171 本文 P172、173 本文、写真 P174、175 本文、写真 P176～179 本文、写真 P180、181 本文、写真 P182～184 本文、写真 P185 本文、写真 P186、187 本文、写真 P188、189 本文、写真 P190、191 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業の発展による生活の変化</li> <li>・日本のエネルギーの将来</li> <li>・生活圏の諸課題</li> <li>・日本の自然環境の特徴</li> <li>・世界でおきている自然災害</li> <li>・風水害と防災</li> <li>・地形図を活用した演習問題</li> <li>・火山の噴火と防災</li> <li>・地震・津波と防災</li> <li>・地形図を活用した演習問題</li> <li>・都市型災害と防災</li> <li>・防災・減災への心構え</li> <li>・フィールドワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東日本大震災の記載</li> <li>・東日本大震災での原子力発電所の事故を紹介</li> <li>・住民が参加する消防訓練を紹介</li> <li>・夏から秋にかけて接近する台風を紹介</li> <li>・地震、津波、噴火、洪水、土砂災害による被害を紹介</li> <li>・日本における風水害への備えを紹介</li> <li>・新旧地形図の比較などの演習問題</li> <li>・火山災害への備え、火山の恩恵としての地熱発電を紹介</li> <li>・地震の種類とメカニズム、津波の発生などを紹介</li> <li>・津波からの避難の方法の考察</li> <li>・都市型災害とその備えを紹介</li> <li>・災害時におけるタイムラインなどを紹介</li> <li>・2019年に発生した台風19号による浸水被害や土砂災害を紹介</li> </ul>
第一	706	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる	有	見開 写真 P20 本文、写真 P73 写真 P74 本文、写真 P83 写真 P111 写真 P178、179 本文、写真 P182、183 本文 P184、185 本文 P186、187 本文、写真 P188、189 本文、写真 P190、191 本文、写真 P192、193 本文、写真 P194、195 本文、写真 P197 本文、写真 P198、199 本文、写真 P200 本文、写真 P202、203 本文、写真 P204、205 本文、写真 P206 本文、写真 P207 本文 P208、209 本文、写真 P210 本文、写真 P211 本文、写真 P219 コラム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を目指して</li> <li>・地理情報システムの活用</li> <li>・「住」から見る世界</li> <li>・世界の人々のさまざまな住み方</li> <li>・自動車と私たちの生活</li> <li>・持続可能な開発目標(SDGs)</li> <li>・地球環境問題</li> <li>・地球規模で見る地形の姿と自然災害</li> <li>・人々の暮らしを取りまく自然環境</li> <li>・変動帯の自然と防災</li> <li>・変動帯の自然と防災</li> <li>・変動帯の自然と防災</li> <li>・変動帯の自然と防災</li> <li>・変動帯の自然と防災</li> <li>・地形図の読図と作業</li> <li>・湿潤地域の自然と防災</li> <li>・湿潤地域の自然と防災</li> <li>・湿潤地域の自然と防災</li> <li>・湿潤地域の自然と防災</li> <li>・問題演習</li> <li>・問題演習</li> <li>・私たちができる災害への備え</li> <li>・複合災害</li> <li>・過去の災害</li> <li>・地域調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・洪水被害(ブラジル)、森林火災(オーストラリア)の写真を掲載</li> <li>・ハザードマップ、大雨・洪水警報などを紹介</li> <li>・液化化現象で崩れた道路の写真を掲載</li> <li>・豪雨の際に氾濫した河川により、水没する危険性を紹介</li> <li>・2011年、タイにおける洪水による自動車工場の浸水の写真を掲載</li> <li>・頻発する大規模な気象災害の写真を掲載</li> <li>・暴風雨時の浸水被害、大規模な森林火災を紹介</li> <li>・自然災害の地域的な偏りを紹介</li> <li>・日本に自然災害が多い理由を紹介</li> <li>・日本で地震災害や火山災害が起こる要因を紹介</li> <li>・プレート境界地震への備えを紹介</li> <li>・活断層地震への備えを紹介</li> <li>・火山噴火への備えを紹介</li> <li>・火山地域で暮らしていく知恵を紹介</li> <li>・GISを活用した、旧版地形図と現在の地形図との比較を紹介</li> <li>・湿潤地域の恵みと災害を紹介</li> <li>・土砂災害ハザードマップを紹介</li> <li>・風水害への備えを紹介</li> <li>・土砂水害への備えを紹介</li> <li>・水害ハザードマップの読み取り</li> <li>・マイタイムラインの作成</li> <li>・減災に必要な考え方や行動を紹介</li> <li>・複合災害を紹介</li> <li>・災害遺構を紹介</li> <li>・調査に用いる資料と入手先を紹介</li> </ul>

「別紙2-6」【一次エネルギー及び再生可能エネルギーの扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	有	P123 コラム P124、125 本文、コラム P130、131 本文、図 P132、133 本文、写真、図 P134、135 本文、写真、図 P154 図 P170 本文 P172 本文、図 P185 本文 P215 コラム、図	<ul style="list-style-type: none"> <li>さまざまな地球的課題と国際協力</li> <li>地球環境問題</li> <li>資源、エネルギーの偏在</li> <li>化石燃料から再生可能エネルギーへ</li> <li>日本の資源・エネルギー問題</li> <li>地球的課題と国際協力</li> <li>まとめ</li> <li>演習問題</li> <li>火山の災害とめぐみ</li> <li>演習問題</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>風力発電や太陽光発電、バイオエタノール燃料を活用している国を紹介</li> <li>有限な地球と環境問題として資源・エネルギーの消費や再生可能エネルギーを紹介</li> <li>地域別の一人あたりの一次エネルギー消費量を紹介</li> <li>温室効果ガス排出する化石燃料から再生可能エネルギーへの転換の必要性を紹介</li> <li>再生可能エネルギーの推進とともに、「都市鉱山」を紹介</li> <li>複雑に関連し合う地球的課題として資源・エネルギー問題を紹介</li> <li>資源・エネルギー問題として、資源・エネルギーの偏在や再生可能エネルギーへの転換を紹介</li> <li>主な国の一次エネルギー供給を紹介</li> <li>再生可能エネルギーとしての地熱利用を紹介</li> <li>4か国の再生可能エネルギー、火力の発電構成の割合を紹介</li> </ul>
実教	702	地理総合	有	P57 コラム P150、151 本文、写真 P161 本文 P162、163 本文、図 P164、165 本文、コラム P166 本文 P183 本文、写真、図	<ul style="list-style-type: none"> <li>現代の諸課題</li> <li>地球的課題と国際協力</li> <li>都市・居住問題</li> <li>エネルギー資源の開発と限界</li> <li>新たなエネルギー資源への取り組み</li> <li>地球環境問題：地球温暖化</li> <li>火山災害と対策</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国における原子力発電や自然エネルギーの推進を紹介</li> <li>化石燃料の大量消費や、再生可能エネルギーのバイオ燃料を紹介</li> <li>スマートシティにおけるスマートグリッド、再生可能エネルギーの効率的な利用を紹介</li> <li>1人あたり一次エネルギー消費量や代替エネルギーを紹介</li> <li>再生可能エネルギーの利用と課題や、日本における再生可能エネルギー特別措置法を紹介</li> <li>産業革命以降、大量の化石燃料をエネルギー源としたことを紹介</li> <li>火山の地熱を利用した発電や、八丁原地熱発電所を紹介</li> </ul>
帝国	703	高等学校 新地理総合	有	P1 巻頭言 P145 本文 P146 本文、図 P151 コラム P154、155 本文 P158、159 本文、図 P160、161 本文、図 P162、163 本文、図 P175 本文 P200 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>私たちが地理を学ぶ意義</li> <li>地球的課題と国際協力</li> <li>相互に関連する地球的課題とその解決に向けて</li> <li>多様な地球環境問題</li> <li>地球温暖化への対策</li> <li>世界のエネルギー・鉱産資源</li> <li>エネルギー利用の現状と課題</li> <li>地域で異なるエネルギー問題への取り組み</li> <li>飢餓と飽食</li> <li>火山の恵みと災害</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>資源・エネルギー問題を紹介</li> <li>資源・エネルギー問題を紹介</li> <li>地球的課題の背景にある経済格差として資源・エネルギー問題を紹介</li> <li>環境を保護する日本の取り組みとして、化石燃料に代わる水素エネルギーを紹介</li> <li>産業革命以降の大量の化石燃料の使用や、モルディブでの再生可能エネルギーの導入を紹介</li> <li>1次エネルギー、2次エネルギー、エネルギー革命などを紹介</li> <li>主な国のエネルギー生産量や、バイオマス発電など、再生可能エネルギーへの転換を紹介</li> <li>バイオエタノールに力を入れるブラジル、洋上風力発電に力を入れるデンマークを紹介</li> <li>とうもろこしがバイオエタノール向けに使われ、穀物供給を圧迫していることを紹介</li> <li>火山がつける熱水や高温の蒸気が地熱発電に利用されることを紹介</li> </ul>
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	有	P141 本文、図 P142、143 本文、図 P156 本文 P175 本文 P176 本文、図 P178、179 本文、写真、図 P180、181 本文、写真、コラム、図	<ul style="list-style-type: none"> <li>寒冷な気候と生活・産業</li> <li>寒冷地域の開発による成長と課題</li> <li>開発による発展と社会にみられる課題</li> <li>気候変動とその対策</li> <li>鉱産資源・エネルギー資源とその課題</li> <li>鉱産資源・エネルギー資源とその課題</li> <li>資源のリサイクル・再生可能エネルギー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ロシアが原油や天然ガス、石炭などのエネルギー資源の世界有数の輸出国であることを紹介</li> <li>日本はロシアからおもにエネルギー資源を輸入し、ロシアに自動車や機械類を輸出していることを紹介</li> <li>ラテンアメリカはエネルギー資源や鉱産資源に恵まれていることを紹介</li> <li>気候変動への緩和策として、再生可能エネルギーの活用等の必要性を紹介</li> <li>多様な資源や、おもなエネルギー資源の可採年数を紹介</li> <li>依存するエネルギーが大きく変化するエネルギー革命や、発電所の立地条件を紹介</li> <li>各国における再生可能エネルギーの利用、バイオエタノールで走る自動車、スマートグリッド等の紹介</li> </ul>
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	有	P11 本文、図 P126 本文、写真 P148、149 本文、図 P150、151 本文 P152、153 本文、コラム、図、写真 P156、157 コラム、図 P159 本文 P181 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>球面上での生活</li> <li>地球的課題と国際協力</li> <li>世界の資源・エネルギー</li> <li>エネルギー資源の生産・消費と課題</li> <li>再生可能エネルギーへの移行</li> <li>日本のエネルギーの将来</li> <li>地球温暖化の現状と将来</li> <li>火山の噴火と防災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽からの放射が緯度により異なり、太陽から受けるエネルギーの量が変わることを紹介</li> <li>再生可能エネルギーへの転換や、砂漠で稼働する集光型の太陽熱発電所を紹介</li> <li>エネルギー資源、再生可能エネルギー、国・地域別の1人あたり一次エネルギー供給量等を紹介</li> <li>有限資源の石油の利用や、持続的な利用に向け、代替エネルギー等を紹介</li> <li>新しい発電方法としての再生可能エネルギーを使った発電への移行が世界で進んでいることを紹介</li> <li>安定したエネルギー供給には、どの発電方法がよいかディスカッションを行う活動</li> <li>温暖化に対する最も効果的な対策としての再生可能エネルギーへの移行を紹介</li> <li>火山の恩恵としての地熱発電の紹介</li> </ul>
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	有	見開き 写真 P9 図 P76 コラム P80 本文 P110 写真 P119 本文 P122 写真 P131 図表 P134、135 本文、図、写真 P136、137 本文、コラム、図、写真 P176、177 本文、図、写真 P194 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>持続可能な社会を目指して</li> <li>地球上の位置</li> <li>住居と素材</li> <li>暮らしを豊かにする産業</li> <li>持続可能な開発目標(SDGs)</li> <li>人口問題</li> <li>食料問題</li> <li>技術革新と持続可能な産業化</li> <li>エネルギー問題</li> <li>エネルギー問題</li> <li>資源・エネルギー問題</li> <li>変動帯の自然と防災</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>太陽光・風力発電所の紹介</li> <li>太陽光の受熱量と緯度の関係を紹介</li> <li>ゲルの構造と生活として、晴天の多い気候を活かした太陽光パネルの設置を紹介</li> <li>1960年代の石炭から石油への動力源の転換であるエネルギー革命を紹介</li> <li>サウジアラビアの太陽光プラントを紹介</li> <li>エネルギー資源の将来的な不足や、化石燃料の消費拡大による環境破壊を紹介</li> <li>トウモロコシ畑の中のバイオエタノール工場の紹介</li> <li>再生可能エネルギーの導入により年間の1次エネルギー消費量の収支をゼロにする取り組みを紹介</li> <li>1960年代のエネルギー革命による石油消費量の急増や、福島第一原子力発電所の事故を紹介</li> <li>再生可能エネルギーの種類や、電力の安定供給が課題となっていることを紹介</li> <li>石油の生産・流通・消費の特徴や、持続可能なエネルギー資源への投資を紹介</li> <li>火山地域における地熱発電の紹介</li> </ul>

「別紙2-7」【持続可能な社会づくりの扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	有	巻頭 本文 P121 本文 P124 本文 P155 本文 P156、157 本文 P171 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじめに</li> <li>・さまざまな地球的課題と国際協力</li> <li>・地球環境問題</li> <li>・地球的課題と国際協力</li> <li>・持続可能な社会とSDGs</li> <li>・まとめ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「SDGs」という言葉をどこかで聞いたことがあるでしょうかという問いかけ</li> <li>・持続可能な社会の実現に向けた地球的課題の解決の方向性という主題設定</li> <li>・持続可能な範囲で資源・エネルギーを消費していくライフスタイルを紹介</li> <li>・1992年の地球サミット(リオデジャネイロ)の標語「持続可能な開発」を紹介</li> <li>・MDGsとSDGsを示し、SDGsが目指す方向性や日本での試みを紹介</li> <li>・2015年の国連サミットで、持続可能な開発目標(SDGs)が採択されたことを紹介</li> </ul>
実教	702	地理総合	有	P118、119 本文 P151 本文 P158、159 本文 P170、171 本文 P205 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かわるアフリカと多文化共生</li> <li>・地球的課題と国際協力</li> <li>・食糧問題への取り組み</li> <li>・地球的課題の解決に向けた国際協力</li> <li>・人口減少社会を考えてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国連サミットにおける持続可能な開発目標(SDGs)の採択を紹介</li> <li>・将来世代のために、持続可能な社会の構築に取り組むことが求められていることを紹介</li> <li>・持続可能な農業生産や、社会の持続的な発展を紹介</li> <li>・国際協力の歴史的経緯と、SDGsの17の開発目標を紹介</li> <li>・自分の住んでいる地域に見合った持続可能な取り組みを考えるという問いの設定</li> </ul>
帝国	703	高等学校 新地理総合	有	P1 本文 P32 写真 P145 本文、写真 P146、147 本文、コラム P148、149 本文、写真 P151 本文 P156、157 本文、写真 P158、159 本文、写真 P164、165 本文、写真 P172、173 本文、写真 P178、179 本文、写真 P186、187 本文、写真 P216、217 本文、写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私たちが地理を学ぶ意義</li> <li>・国際間の結びつき</li> <li>・地球的課題と国際協力</li> <li>・複雑に絡み合う地球的課題</li> <li>・SDGsについて学ぼう</li> <li>・多様な地球環境問題</li> <li>・海洋汚染について考えよう</li> <li>・世界のエネルギー・鉱産資源</li> <li>・水の利用について考えよう</li> <li>・教育の普及について考えよう</li> <li>・食料生産について考えよう</li> <li>・感染症の予防について考えよう</li> <li>・自然災害による被害を減らそう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会づくりを紹介</li> <li>・「持続可能な開発目標(SDGs)」のアイコンがプロジェクションマッピングで映し出された国連本部のビルの紹介</li> <li>・地球的課題や、青年海外協力隊による国際協力を紹介</li> <li>・持続可能な開発やSDGsを紹介</li> <li>・「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の開発目標を紹介</li> <li>・地球環境問題を解決し、持続可能な社会を実現するために、地球的な視野に立った世界の人々の協力が必要であることを紹介</li> <li>・持続可能な開発のための海洋を保全する取り組みを紹介</li> <li>・持続可能なエネルギーの利用方法について考えるための主題設定</li> <li>・持続可能な水資源の利用に向けた取り組みを紹介</li> <li>・質の高い教育を普及させるための取り組みを紹介</li> <li>・持続可能な食料生産を実現するための取り組みを紹介</li> <li>・すべての人の健康と福祉を促進するための取り組みを紹介</li> <li>・自然災害に強い地域を目指す取り組みを紹介</li> </ul>
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	有	P127 注釈 P166、167 本文、写真 P168、169 本文、図 P173 注釈 P193 コラム、図 P196、197 本文、図 P234 本文	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済成長と自然環境の変化による課題</li> <li>・相互に関連する地球的課題～SDGs</li> <li>・環境問題と持続可能な社会</li> <li>・森林減少・砂漠化とその対策</li> <li>・都市への人口集中に伴う問題</li> <li>・「誰も置き去りにしない世界」を考える。</li> <li>・おわりに～「地」の「理」の「学」びをさらに深めていこう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境の保全と貧困の解消のための活動についてSDGsをキーワードに調べることを紹介</li> <li>・「持続可能な開発目標(SDGs)」の17の開発目標を写真等を用いて紹介</li> <li>・持続可能な社会の3つの側面を紹介</li> <li>・エンカル消費について、SDGsと関連させて紹介</li> <li>・都市問題のつながりについて考えることを紹介</li> <li>・SDGsに着目した問いの設定</li> <li>・SDGsと地理学習の関連性を紹介</li> </ul>
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	有	P7 コラム、図 P23 コラム、写真 P49 コラム、写真 P135 コラム、図 P137 コラム、写真 P151 コラム、図 P159 コラム、図 P161 コラム、図 P166、167 本文、写真、図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全世界がめざす開発目標 SDGs</li> <li>・国家をこえた結びつき</li> <li>・海岸部の生活</li> <li>・世界の食料問題</li> <li>・人口増加と食料問題</li> <li>・エネルギー資源の生産・消費と課題</li> <li>・地球温暖化の現状と将来</li> <li>・熱帯林の減少</li> <li>・地球的課題をSDGsの視点からみてみよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの17の開発目標と、ウェディングケーキモデルの紹介</li> <li>・模擬国連を紹介</li> <li>・天橋立を守るためにの活動を紹介</li> <li>・食品ロスをなくすために、できることを紹介</li> <li>・フェアトレードを通じた支援を紹介</li> <li>・教室でできる省エネ貢献を紹介</li> <li>・温暖化ストップに私たちができることを紹介</li> <li>・SDGsと関連して、ESG投資の拡大を紹介</li> <li>・SDGsの目標がどのように関連し合っているか、因果関係図で整理する問いの設定</li> </ul>
第一	706	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる	有	見開き 写真 P59 本文、コラム、写真 P110、111 本文、コラム、図 P130、131 本文、写真、図 P150、151 本文、写真 P160、161 本文、写真、図 P162、163 本文、写真、図 P176、177 本文、写真、図 P220、221 本文、写真、図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な社会を目指して</li> <li>・「衣」のグローバル化</li> <li>・持続可能な開発目標(SDGs)</li> <li>・技術革新と持続可能な産業化</li> <li>・生物多様性と生物資源</li> <li>・国際協力とパートナーシップ</li> <li>・国際協力に貢献しよう</li> <li>・資源・エネルギー問題</li> <li>・持続可能な観光地づくりを考えよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な課題について世界各地の写真を紹介</li> <li>・サステイナブル(持続可能な)ファッションで注目を集めている日本のベンチャー企業を紹介</li> <li>・私たちが直面する課題や持続可能な開発目標とともに5つのPを紹介</li> <li>・安全性に配慮しながら科学技術を利用して、持続可能な産業化を図ることの必要性を紹介</li> <li>・生物多様性の構成要素の持続可能な利用等を目的とした「生物多様性条約」を紹介</li> <li>・SDGsに多くの企業が自主的に参加していることを紹介</li> <li>・青年海外協力隊の体験談とSDGsの目標との関連を考える問いの設定</li> <li>・発展著しい産油国と持続可能な社会への取り組みを紹介</li> <li>・富岡製糸場の事例を参考に持続可能な観光地づくりについて考える問いの設定</li> </ul>

「別紙2-8」【オリンピック、パラリンピックの扱い】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	扱いの有無	扱い方 (本文・コラム・写真)	取り上げている項目	記述の概要
東書	701	地理総合	有	P6, 7 本文 P134 写真	・オリンピックから時差を考えよう ・日本の資源・エネルギー問題	・オリンピックの生中継を「いつ」「どこで」見ていたかという話題から時差を考える内容 ・東京オリンピック・パラリンピック2020年大会の入賞メダルは、使用済み携帯電話と、そこから精製された原料で作られていることを紹介
実教	702	地理総合	有	P21 コラム	・スポーツや文化の国際交流	・オリンピックやサッカーのワールドカップは、全世界が注目するスポーツの祭典となっていることを紹介
帝国	703	高等学校 新地理総合	有	P38 本文	・通信技術の発達と一体化する世界	・通信技術が発達し、通信網が整備された現代では、世界中で瞬時に情報をやり取りすることが可能であり、世界各国に中継されるオリンピックやワールドカップなども、現地とほぼ同時に観戦することができることを紹介
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	有	P87 本文 P180 注釈	・音楽・スポーツの国際化 ・資源のリサイクル・再生可能エネルギー	・日本発祥の柔道は200をこえる国や地域に普及し、オリンピックやパラリンピックの種目にも採用されていることを紹介 ・東京オリンピック・パラリンピックのメダルに使われる材料は、すべてリサイクルした金属から回収されたことを紹介
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	有	P69 年表	・生活用品の変化	・1964年の東京オリンピックについて記載
第一	706	高等学校 地理総合 世界を学び、地域をつくる	有	P7 コラム  P11 問題演習 P101 本文 P101 図表 P101 注釈  P132 コラム	・レジブル・ロンドン計画  ・世界の時差 ・商業化されるスポーツ競技 ・商業化されるスポーツ競技 ・商業化されるスポーツ競技  ・限りある資源	・ロンドンでは、2012年のオリンピック開催に合わせて、標識のデザインを統一した新しい地図で案内・誘導システムを構築したことを紹介 ・オリンピック開会式のテレビ放映を生中継で見ると、各都市での開始時間は何時になるか計算する問題 ・オリンピックの歴史と規模の拡大・放映権料の高騰などを紹介 ・オリンピック開催都市と参加国・地域の推移を紹介 ・オリンピックの開催地を州・大陸別に見ると、どこが最も多く開催しているか、また、一度も開催されていないところはどこか考える問いの設定 ・オリンピック開催のメリット・デメリットを説明する問いの設定 ・なぜヨーロッパで視聴しやすい時間に競技の時間が設定されるかという問いの設定 ・東京オリンピック・パラリンピック2020大会では、選手に贈呈されるメダルに都市鉱山から取り出した金属が使われたことを紹介

「別紙3」【(2)構成上の工夫】(地理総合)

発行者	教科書番号	教科書名	構成上の工夫
東書	701	地理総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化、気候、経済、社会問題などについて、実際に遭遇する可能性が高い場面を想定しながら記載している。</li> <li>・各章の最後にまとめのページ、章末の確認テストのページを掲載し、作業的・体験的な学習がしやすい工夫をしている。</li> <li>・地形図が大きく読み取りやすく、イラストを多用しながら情報を読み取るヒントが提示され、作業しやすい工夫をしている。</li> <li>・各項目の冒頭に問いが設定され、問いを意識しながら教科書を読み進めていく構成となっている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・二次元コード及びURLを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>
実教	702	地理総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化、気候、経済、産業などについて、歴史的事項を踏まえ記載している。</li> <li>・特に世界の歴史と地理とを関連付け、歴史的背景を踏まえて解説するコラムに特色がある。</li> <li>・地図と統計グラフを関連づけて掲載しており、作業的・体験的な学習がしやすい工夫をしている。</li> <li>・項目ごとに見開きで構成され、項目の最後に、全体を通して考えを深める問いが設定されている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・二次元コード及びURLを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>
帝国	703	高等学校 新地理総合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の文化、気候、経済、産業、宗教、社会問題などを相互に関連付けた記述が特徴的である。</li> <li>・各地域独自の歴史や文化と現在の地域の状況を対比しながら紹介するコラムが特徴的である。</li> <li>・地域の特徴を表す地図が多用され、人々の生活や経済活動の様子を写真を用いて表現している。</li> <li>・項目ごとに見開きになっており、図説の割合が多く、作業的・体験的な学習がしやすい工夫をしている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・二次元コード及びURLを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>
二宮	704	地理総合 世界に学び地域へつなぐ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解や防災、地域調査など生徒の思考力・判断力・表現力を育成する探究的題材が掲載されている。</li> <li>・世界の中の日本に着目したコラムが掲載されるとともに、用語解説が各ページに掲載されている。</li> <li>・地形図、主題図が大きく読み取り易く、イラストを多用して、作業的・体験的な学習がしやすい工夫をしている。</li> <li>・各ページに、情報収集のための情報が記載されている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・二次元コードを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>
二宮	705	わたしたちの地理総合 世界から日本へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球的課題や持続可能な開発(SDGs)について紹介し、生徒が主体的に学習に取り組める工夫がされている。</li> <li>・世界の衣食住、SDGs、世界と日本とのつながりなど、生徒の興味・関心をひく情報を掲載している。</li> <li>・地形図、主題図が大きく読み取り易く、イラストを多用して、地理学習についての興味・関心をひく工夫をしている。</li> <li>・学習の流れを冒頭で明示し、生徒が学習テーマを把握した上で学習に入りやすい構成となっている。</li> <li>・カラーユニバーサルデザインに配慮、見やすいユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>・二次元コードを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>
第一	706	高等学校地理総合 世界を学び、地域をつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的事象をグローバルな視点で広く捉えるとともに、日本の身近な地域の事象と関連付ける工夫がされている。</li> <li>・各ページの内容を深めるコラム、学習のスパイスとなるトピックや注釈が掲載されている。</li> <li>・地形図、主題図が大きく読み取りやすく、複数の写真などを比較して情報を読み取る工夫がされている。</li> <li>・写真や図版を関連付けて思考させる問題が掲載され、作業的・体験的な学習がしやすい工夫をしている。</li> <li>・ユニバーサルデザイン(カラーバリアフリーを含む)に配慮している。</li> <li>・二次元コード及びURLを記載し、動画や教材等を活用することができる。</li> </ul>

